

日本インテリア学会関西支部

【重要文化財・香雪美術館「旧村山邸」インテリア特別見学会】

香雪美術館は、朝日新聞社の創設者・村山龍平が蒐集した日本、東洋の古美術コレクションなどを収蔵する美術館である。見学に訪れたときには、展覧会「野々村仁清とその時代」が開催中であり、華麗な金銀彩や絵付けがほどこされた色絵陶器をはじめ、唐物の写しや蒔絵を応用した文様など優美な色彩感覚と卓越した轆轤の技が引立つ茶碗などが多数展示され、学芸員によるギャラリートークは、仁清作品とその時代背景について興味深い内容であった。

一方、今回の見学会のメインである旧村山邸は、段差のある地形を巧みに利用し、洋館（明治 42 年竣工）は河合幾次、和館（明治 44 年竣工）は藤井厚二の設計である。風格のある洋館と和館とは長い廊下で接続されており、繋ぎの間として存在感のある空間となっている。明治、大正期の文化と建築技法で埋め尽くされた近代建築である。今後、一般公開を検討しているとのことであった。

記：船曳悦子

